

小型の乗り合いバス車両を活用した 「モバイル公民館」のデザイン・愛称が決定しました

伊那市が本年度取組みを進めている「モバイル公民館」について、車両のデザイン・愛称が決定しましたので、発表します。

愛 称	モバc o （読み方：モバコ）
デザイン	別紙1のとおり

◆愛称応募者 富成 由佳（とみなり ゆか）さん （職業：公務員）

「受賞者コメント」 「モバイル公民館」の略で、「一緒に」「共同」といった意味のある“c o”をつけることで、いろいろな世代の市民が集える場になればよいと考え、名付けました。

◆デザイン応募者 柳沢 むつみ（やなぎさわ むつみ）さん （職業：自営業）

「受賞者コメント」 モバイル公民館ということで、何をどう描いていいか分からなかったため、絵ではなく文字で表現してみました。明るい色でと考えてオレンジにしました。

※ご本人の希望により、受賞者への個別取材はご遠慮くださいますようお願いいたします。

モバイル公民館の事業概要

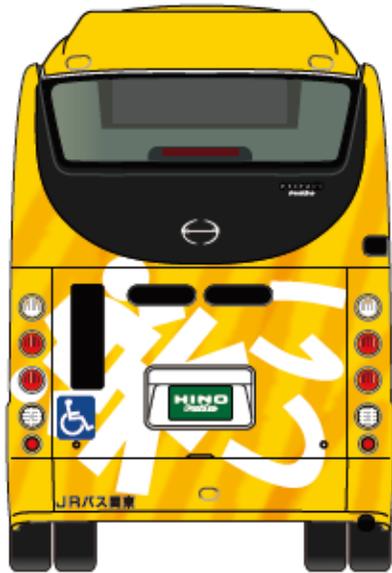
モバイル公民館は、朝夕は長谷循環バスとして運行している車両に、情報通信機器や高品質な視聴覚機器を搭載し、移動困難等により地域交流活動等への参加が難しい方々に対し、バスが地域へ出向くことで、車内で講座等にリモートで参加したり、視聴覚体験ができる仕組みです。

デザイン・愛称募集の実施

伊那市在住・在勤・在学の方を対象として、9月20日までデザイン・愛称の募集を行い、愛称121件、デザイン27件の応募をいただきました。11月1日に選考委員による審査会を実施し、上記の作品に決定しました。

【本資料に関するお問い合わせ先】

伊那市 企画部 企画政策課 tel：0265-78-4111(内2141) 担当：谷田、三宅



※ デザイン作者の方の原画を元にデジタルデータ化した画像となります。